



設置、メンテナンス、アップグレード

- [SSD の交換 \(1 ページ\)](#)
- [2 支柱ラックの FIPS 不透明シールドの取り付け \(2 ページ\)](#)

SSD の交換

Firepower 1100 は、SSD が取り付けられた状態で出荷されます。この SSD で障害が発生した場合は交換できます。SSD を交換する前に、背面パネルの電源スイッチを押してシャーシの電源をオフにする必要があります。



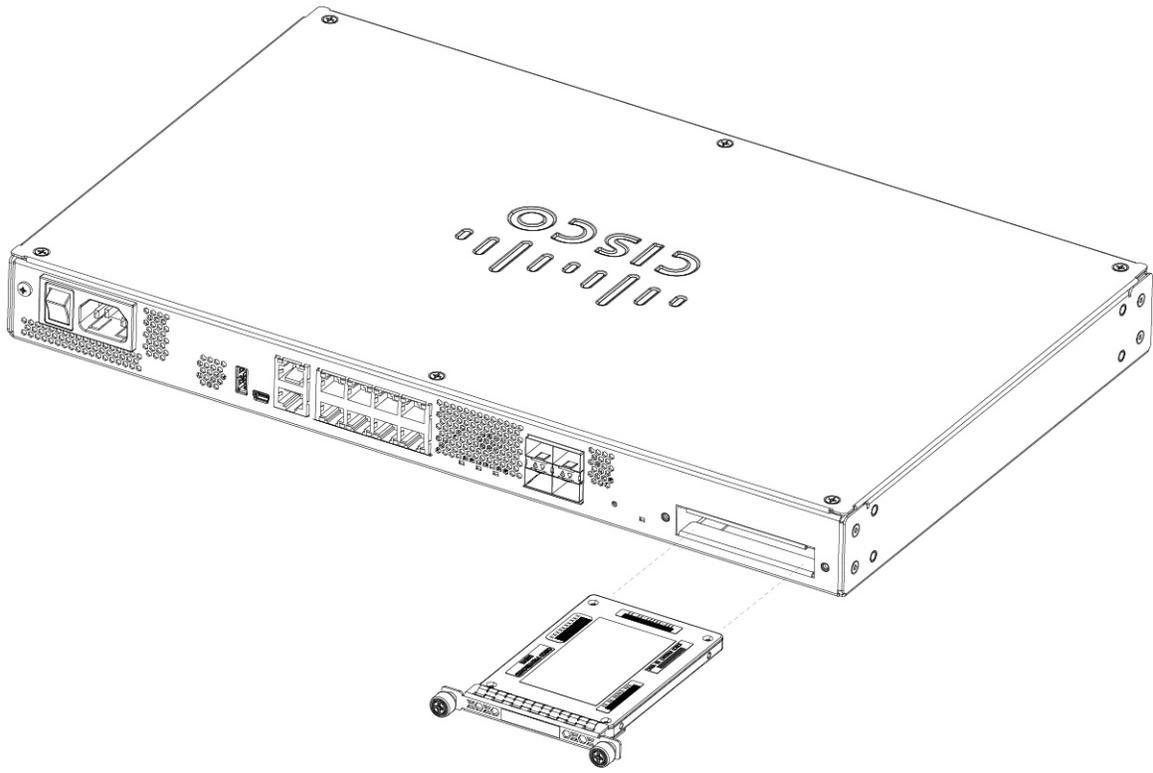
注意 既存の SSD を新しい SSD に交換すると、その設定は失われます。

シャーシ内の SSD を交換するには、次の手順に従います。

ステップ 1 SSD ベイの両側のつまみネジを緩め、取り付けられている SSD をベイから引き出します。

ステップ 2 新しい SSD をベイに挿入し、所定の位置まで押し込みます。

図 1: SSD の取り外しと取り付け



ステップ 3 SSD ベイの両側のつまみネジを締めます。

ステップ 4 SSD が正しく装着され、動作していることを SSD LED で確認します。SSD LED の説明については、[背面パネル LED](#)を参照してください。

2 支柱ラックの FIPS 不透明シールドの取り付け



(注) FIPS 不透明シールドがシャーシのシリアル番号を覆っているため、CO はシリアル番号をメモして安全な場所に保管する必要があります。このシリアル番号は、Cisco TAC に連絡する際に必要になります。

始める前に



注意 この手順は暗号担当役員 (CO) のみが実行する必要があります。

FIPS 不透明シールドを取り付けるには、次のものがが必要です。

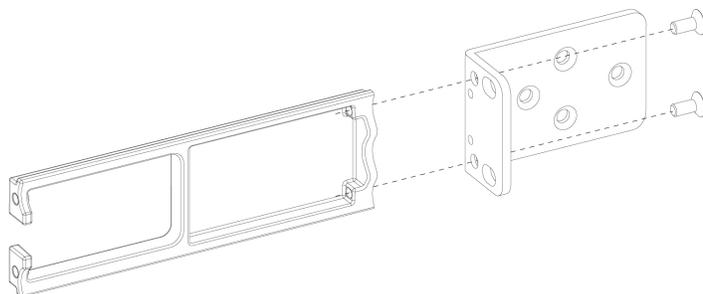
- No.1 プラス ドライバ
- FIPS キットに含まれている次のもの（部品番号 800-105495-01）：
 - FIPS 不透明シールド 1 個（部品番号 69-100612-01）
 - ケーブル管理ブラケット 2 個（部品番号 700-117013-01）
 - FIPS 不透明シールドをケーブル管理ブラケットに取り付けるために使用する 8 本の 8-32 X 0.375 インチプラスネジ（部品番号 48-0629-01）
 - 改ざん防止用ラベル（TEL）10 枚（部品番号 47-25553-01）



(注) TEL は、粘着性の裏材を使用した特殊な薄いゲージのビニールでできています。CO が TEL をシャーシに取り付けた後は、シャーシを開こうとすると TEL またはシャーシカバーが破損します。TEL には繰り返しのないシリアル番号が付加されているため、CO は破損を調べ、与えられたシリアル番号と比較して、シャーシが改ざんされていないかどうかを確認できます。TEL の角が丸まっていたり、破れていたたり、切れている場合は、改ざんされていることを示します。ラベルがはがされた場合は、「FIPS」または「OPEN」と表示されることがあります。

- ステップ 1** シリアル番号をメモし、安全な場所に保管します。シリアル番号の確認方法については、「[シリアル番号の場所](#)」を参照してください。
- ステップ 2** [シャーシのラックマウント](#) の説明に従って、ステップ 1 を実行します。
- ステップ 3** ケーブル管理ブラケットの取り付け

図 2: ラックマウントブラケットへのケーブル管理ネジの取り付け



- ステップ 4** ケーブルをポートに接続します。ケーブル管理ブラケットに通すための十分なたるみがケーブルにあることを確認します。

2 支柱ラックの FIPS 不透明シールドの取り付け

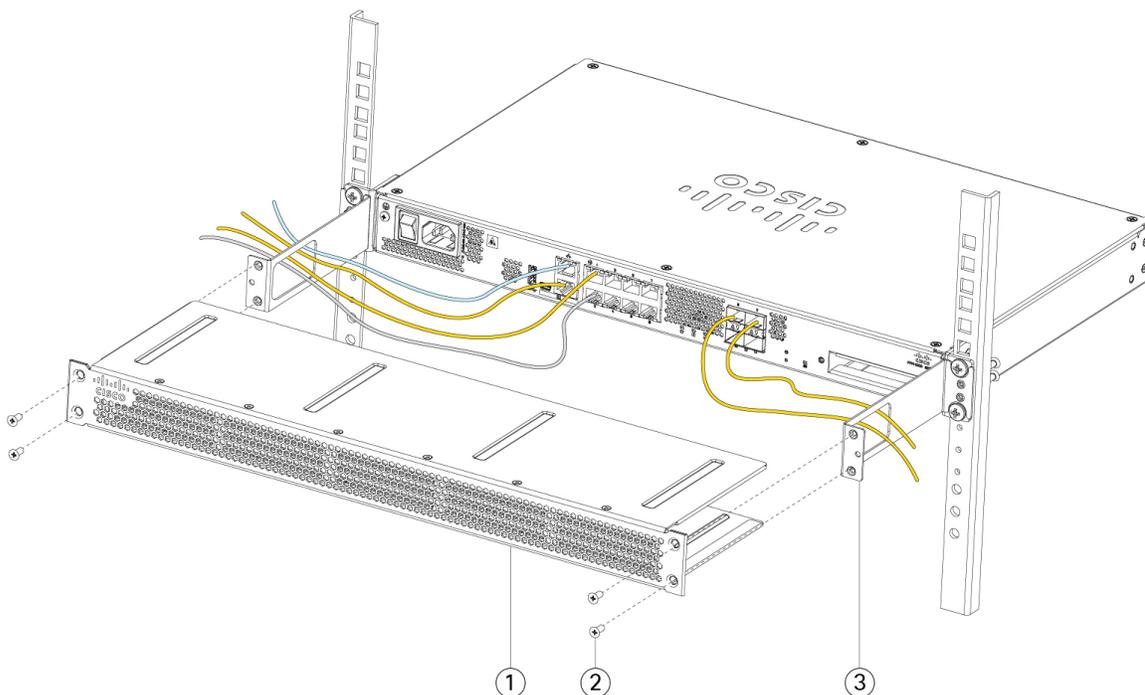
(注) 製品の初期設置の後に FIPS 不透明シールドを取り付けている場合は、ケーブルがすでに接続されています。接続されているケーブルに、ケーブル管理ブラケットに通すための十分なたるみ（以下の図を参照）がない場合は、アプライアンスの電源を切り、ケーブルを取り外してケーブル取り付けブラケットに通してから、ケーブルを接続しなおして、次の手順 5 に進んでください。

(注) 電源スイッチをオンからオフに切り替えると、システムの電源が切れるまで数秒かかります。電源 LED がオフになるまで電源ケーブルを抜かないでください。電源スイッチをオフに動かすか電源コードを取り外してシャーシへの電力供給を遮断した後は、少なくとも 10 秒間待機してから電源を再投入してください。

ステップ 5 以下の図に示すように、ケーブルをケーブル管理ブラケットの開口部に通して配線します。

ステップ 6 以下の図に示すように、FIPS キットに付属の 4 本の 8-32 X 0.375 インチプラスネジを使用して、FIPS 不透明シールドをケーブル管理ブラケットに取り付けます。

図 3: FIPS カバーの取り付け



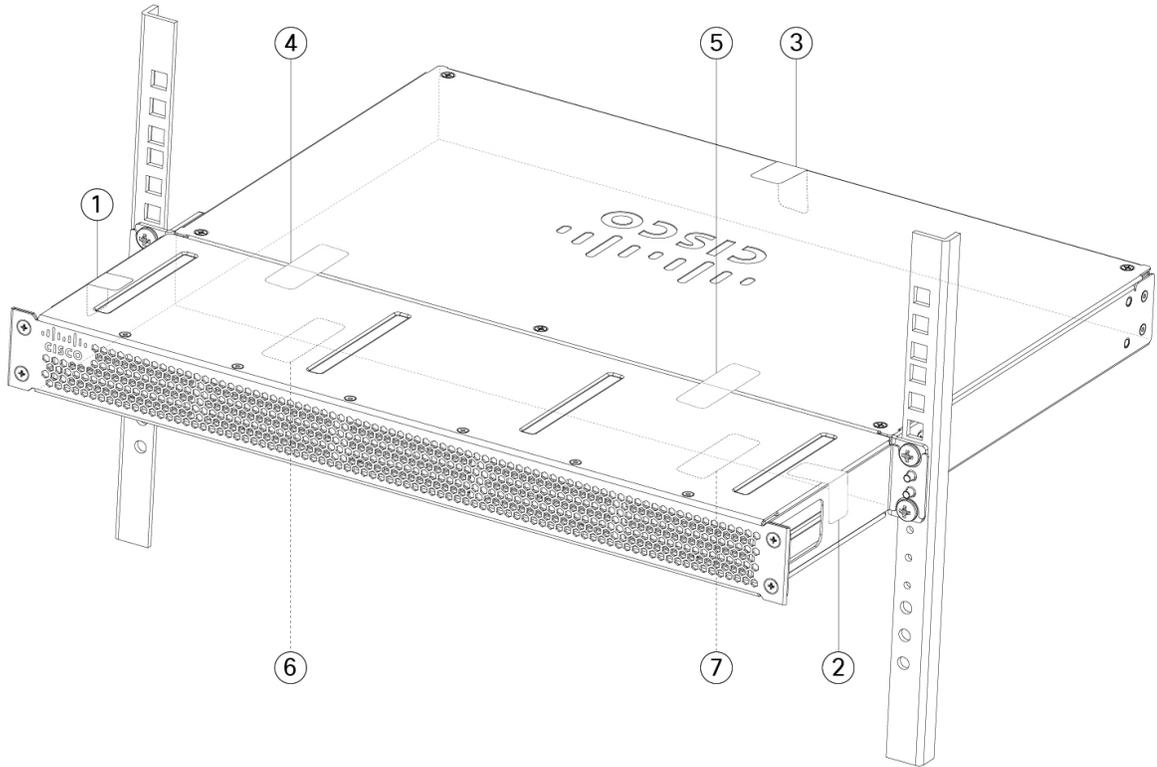
1	FIPS 不透明シールド	2	8-32 X 0.375 インチプラスネジ (各側面に 2 本)
3	ケーブル管理ブラケット		—

ステップ 7 TEL を貼り付ける前に、アルコールベースのクリーニングパッドを使用して、シャーシと FIPS カバーのグリスや汚れ、油などを掃除します。

ステップ 8 7 枚の TEL を貼り付けます。正しい配置については、次の図を参照してください。TEL を最低 12 時間硬化させます。

注意 TEL の配置に狂いがある場合、シャーシが FIPS モードではないことを示します。

図 4: シャーシ上の TEL の配置



1	シャーシの左側と上部にある TEL 1	2	シャーシの右側と上部にある TEL 2
3	シャーシの上部と背面にある TEL 3	4	FIPS シールドとシャーシを横切る TEL 4 (シャーシの向かって左側)
5	FIPS シールドとシャーシを横切る TEL 5 (シャーシの向かって右側)	6	シャーシ下部の TEL 6 (シャーシの向かって左側)
7	シャーシ下部の TEL 7 (シャーシの向かって右側)	—	—

ステップ 9 電源コードをシャーシに接続し、電源コンセントに接続します。

ステップ 10 リアパネルの電源スイッチを押します。

ステップ 11 前面パネルの電源 LED を確認します。電源 LED については、[背面パネル LED](#)を参照してください。緑の点灯は、シャーシの電源がオンであることを示します。

ステップ 12 シャーシを FIPS モードにします。

シャーシを FIPS モードにする方法については、次の手順を参照してください。

- [プラットフォームモードでの ASA](#)

- [アプライアンスモードでの ASA](#)
 - [FMC に管理される FTD](#)
-

次のタスク

設定の詳細については、『[Cisco Firepower 1100 Getting Started Guide](#)』 [英語] を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。